

家庭教育学級長さん応援つうしん

手塩教頭先生

令和5年10月発行

中濃県事務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育担当：塚原

〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2

TEL：0575-33-4011 (内線210)

FAX：0575-35-1492



NO.118



かなえママ

きよーくん



# 地域とつながる白鳥おどり

～「ふるさと白鳥を愛する心」を育てる～

## 家庭教育学級の取組紹介 ～郡上市立白鳥中学校～

### 【活動の目的と内容】

白鳥中学校1年生は、総合的な学習の時間に「郡上を知る」をテーマに学習しています。

4年ぶりに通常開催となった郷土の伝統行事「白鳥おどり」。今年度は、地域の方々のご協力を得て、マイ下駄作りや、浴衣の着付け体験、おどり講習会などが行われました。

また、7月19日には家庭教育学級の取組として、親子で7曲すべて踊れるようにと、自分たちで制作した下駄を履いて保護者や高校生ボランティアの人たちと一緒に「白鳥おどり」を踊りました。

### 【取組の様子】

7月22日からの白鳥おどり開幕に向けて、地域の職人さんや保存会の方々にご協力をいただき、マイ下駄作り、浴衣着付け体験、おどり講習会を行いました。

#### ◇マイ下駄作り(6月)



#### ◇浴衣着付け体験(7月)



浴衣の提供を呼びかけたところ、多くの皆さんから、80着もの浴衣が集まりました。

#### ◇白鳥おどり講習会(6月)



## 【マイ下駄で踊ろう 7月19日】



保護者の方や、6月の講習会でお世話になった「白鳥おどり保存会」、白鳥中学校出身の「郡上北高校ボランティア」の皆さんにも参加いただきました。



始めの会では、「頑張るぞ〜!」「オー!」と、元気なかけ声で、スタートしました。



1年生全員と保護者や地域の方々が大きな輪になって、7曲を踊りきりました。地域の一体感が感じられ、下駄の音も心地よい響きでした。

## 【参加者の感想より】

- ここ数年、コロナの影響もあり、なかなか親子で踊る機会がなかったので、久しぶりに下駄を履いて子どもたちと一緒に踊れて楽しかったです。入学してまだ半年足らずですが、生き生きと活動する姿が見られてとても安心しました。【保護者】
- 下駄作りをしたことを喜んで話してくれていたのが、今日の踊りを私も楽しみにしていました。白鳥にいても年に1、2回しか踊りに行かなかったのが、今年は一緒に下駄を履いて踊りに行きたいです。良い機会をありがとうございました。【保護者】
- 学習を進めるうちに、白鳥おどりが長く続く伝統文化であることを知りました。今日、地域の皆さんと一緒に踊ってみて、あらためて、地域の皆さんに支えられていることを感じました。夏休みには、家族や友だちと、踊りに行きたいです。【生徒】
- 白鳥おどりをただ踊るだけでなく、昔からの文化や美しさなどに触れる大切な機会になりました。これを機に、もっと白鳥おどりが広がるように、文化を受け継いで、夏休みもたくさん踊ってみたいです。【生徒】

## 【取材を終えて】

今年の白鳥踊りの会場には、地元の子もたちや若者の姿が目立ち、奥美濃のまちも活気ある熱い夏となりました。

白鳥中では、体育祭でも全校生徒と保護者が一緒に踊られたそうです。

学校、家庭、そして地域が一体となって子どもたちが地元を受け継がれる伝統行事を学習・体験することで絆も深まり、子どもたちの思い出にも残る取組になったと思います。

将来、自分たちの生まれ育った地域の主役となって、様々な分野で活躍する姿を楽しみにしています。







# 地域の中の子育て支援



## ～子育て親子の居場所つくりと、交流できる場の提供～

各地域では、園や学校、市で開かれる家庭教育学級の他に、子育てについて学んだり保護者が交流する様々な活動が行われています。今回は、郡上市「大和こどもセンターバンビ」(バンビの森)の子育て支援の取組をご紹介します。

### 「大和子どもセンターバンビ」(バンビの森)

バンビの森は、未就学児の親子が集い、気軽に交流できる場として、平成28年9月に開設され、現在11名のスタッフで運営されています。

施設には、平日の10時から15時まで毎日2名のスタッフが常駐し、保護者向けの子育て相談や、親子で楽しめる体験教室などが定期的で開催されています。

#### ◇子育て相談会



「子育て相談会」では、相談員さんを囲んで交流しあい、会話ははずんでいました。子どもたちは周りで、スタッフに見守られて遊んでいるため、保護者は安心して参加されてみえました。

#### ◇リサイクル事業



ベビーから小学生までを対象としたリサイクル事業では、衣服、靴、帽子、おもちゃなどを、10円などの値段から購入できます。売上金は、施設のおもちゃなどの購入に使われ、施設の運営に還元されています。

この他、バンビの森では、次のような取組も行われています。

- ・月2回開かれる「ママカフェ」や「工作DAY」、季節に応じたイベントの開催
- ・子育てサロン、地区サークル、赤ちゃんサロン、乳幼児学級への託児協力
- ・季節に合わせて、乳幼児の写真を手作りの小物で可愛らしく演出した「寝相アート」の制作
- ・「バンビの森通信」やInstagramによる情報発信

#### 【取材を終えて】

日々、子育てに奮闘してみえる保護者の方々のために、ホッと一息つける居場所を提供したい・・・そんな願いがあふれるバンビの森。取材の当日は、大和町に限らず他の地域からも親子が訪れ、和やかに交流が行われていました。今後も様々な子育て支援活動が予定されていますので、安心して気軽にご利用いただきたいと思います。

幼稚園・保育園、  
小学校の学級長さん、  
ご担当者へ！

ご活用ください！ 岐阜県家庭教育動画

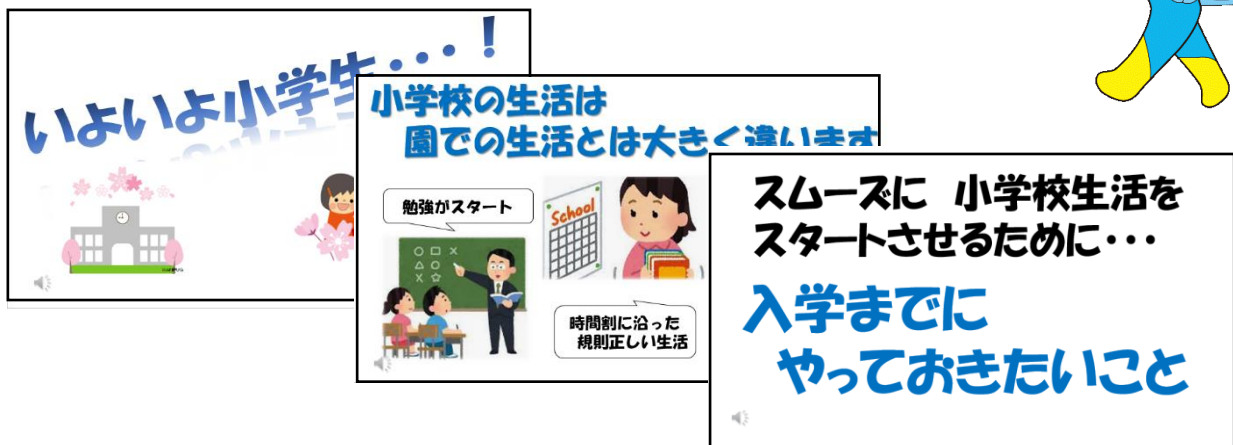
# 「いよいよ小学生！」

来春、小学校に入学されるお子さんがみえるご家庭では、入学準備が本格的になってくる時期ですね。

県の家庭教育動画では、入学準備に役立つ情報なども紹介していますので、ご家庭で時間のある時などにぜひご覧ください。

## 動画について

- ◇ 2分4秒の短い動画です。 
- ◇ 小学校入学までにやっておきたいことについての内容です。



- ◇ 下の QR コードを読み込んでいただくと動画 (YouTube) をご覧になれます。



←環境生活政策課公式 YouTube  
「いよいよ小学生！」

- ◇ 県の家庭教育動画には、入学前に整えたい「生活リズム」の動画などもありますので、ぜひご覧ください。



↑ ↑ ↑ 環境生活政策課公式 YouTube